

公益財団法人 川崎市文化財団 情報誌 ● かわさき・アートニュース

KAWASAKI ART NEWS

2017.2

Vol.248



THE KAWASAKI FOUNDATION

特集 | 日本オペラ協会次期総監督就任

愛といのちの 大切さを歌う

インタビュー: 郡 愛子さん(声楽家)



CONTENTS [目次]

04 音楽

ミューザ川崎シンフォニーホール

07 歴史・文化

東海道かわさき宿交流館

10 美術

市内ギャラリー情報

13 演劇

アルテリオ小劇場

14 映画

アルテリオ映像館

日本オペラ協会次期総監督就任

愛といのちの 大切さを歌う

インタビュー:郡 愛子さん(声楽家)

“日本の伝統文化に根ざしたオペラの創造と普及”のため、
1958年に発足した「日本オペラ協会」。

日本のオペラ界発展の一翼を担う存在です。

2017年4月から、その次期総監督に

メゾ・ソプラノ歌手の郡愛子さんが、就任することになりました。

女性として初めてオペラ団体の総監督を務めることになる郡さんは、

オペラ・クラシック界の第一線で活躍を続ける一方、

クラシックから演歌までジャンルを超えた幅広いレパートリーをもち、

独自のステージを各地で展開しています。

歌について、オペラについて、そして日本オペラ界の展望について語っていただきました。



若いころの夢は専業主婦

—— 歌手になるまでの生い立ちについてお聞かせください。

幼いころは引っ込み思案な子どもでした。家ではよく喋りましたが、外に出ると恥ずかしがり屋で、内弁慶のそとすぼみだったのね。今の私を知っている方からは、信じられないって言われますけれど(笑)。中学で女子校に入ってから、明るくなりました。

母は東京芸術大学のピアノ科出身でピアノの教師をしており、私が学校から帰るといつもレッスンをしていました。同居していた父方の祖母も同校の師範科を出ていたので、幼い頃から身近に音楽がありました。土日になると父がヴァイオリンを持ち、コーラス好きの兄とその友人たちが集まって、家でコンサートをしていたんですよ。

歌はその頃から好きでしたが、母が「歌手はソプラノが華。愛子はアルト系で地味だから、歌は駄目」と言って、やらせてくれませんでした。それでピアノを仕込まれていたのですが、母が生徒に教えているのを全部耳で覚えて弾いていたんですね。ある時、自分はヘ音記号が読めないということに気づいて、そこからピアノが嫌いになってしまった。その後ヴァイオリンを始め、大学はヴァイオリン科を受けたのですが、結果は不合格。試験の時期が遅かった桐朋学園短大の音楽科に進むことになりました。

レッスンで忙しい母の姿を見て、女性は専業主婦になるのが一番良いと思っていましたので、学校を卒業してからすぐ結婚しました。ですから、歌をずっと続けるとは思っていませんでした。



—— オペラ歌手としての活動についてお聞かせください。

晴れて憧れの専業主婦になったわけですが、主人から「せっかく歌をやっているんだから続けたら」と勧められて初めは二期会のオペラ研究所に入り、その後、藤原歌劇団に入団しました。

日本オペラ協会の「春琴抄」、藤原歌劇団の「愛の妙薬」でデビューし、数々の日本初演オペラで主演をつとめるなど、多くの舞台に出演することができ、本当に楽しく充実した日々を過ごしました。

その一方で、車のCMが話題になった事がきっかけで、素晴らしいプロデューサーと巡りあい、ポップスなどを歌う活動を始めるなど、オペラとは違うジャンルの音楽に目を向けるようになって、新しい自分の世界が広がっていきました。

昨年にはデビュー40周年を迎え、ライフワークとして大切にしてきた三つのテーマで記念リサイタルを行いました。やっぱり歌は最高です！肉声で作るドラマですから。そして、身体をフルに使った生の声は、楽器以上に伝わるものがあります。

オペラから演歌まで独自のコンサートスタイル

—— オペラやオーケストラの舞台の他に、エンターテインメント性溢れる独自のリサイタルを定期的に続けていらっしゃいますね。

私のコンサートはいつも話をしながら進めます。トークが得意なわけではないけれど、ふざけたことを言うのが好きなのかしらね(笑)。

リサイタルでは、まずお客様にリラックスしていただけるような演出で始めて、分かりやすい内容の曲を歌って、だんだんに感動していく曲にもっていきます。必ず、笑いと涙を誘うようにね。泣かなきゃ帰しません(笑)。

こんなスタイルでやっていますので、客層は幅広いですね。

音楽が好きの方はもちろん、様々な方がいらっしゃいます。音楽には全く興味がないという方でも、「愛ちゃんのコンサートはショーとして楽しめる」と言ってくれます。

レパートリーも幅広く、黒人霊歌や、宗教曲、歌謡曲なんかも歌いますし、心に響く詞のものであればジャンルを超えて選曲します。

オペラから演歌まで

—— 幅広いジャンルの音楽を歌い分ける大変さはないのでしょうか？

初めは少し迷ったこともありましたが、シャンソンなんかをそれらしく歌ったりもしていましたが、どうもじっくりこない。色々工夫しながら、今ではどんな歌でも自然に自分の声で歌うことが出来るようになりました。結局、オペラと同じ歌い方でよかったですね。唇だとか舌を当てる場所を少し変えるという微調整はあるけれども、基本的に発声自体は変えません。

日本語で歌うことにこだわって、世界の名曲に自分で日本語詞をつけて歌うこともしています。やはり日本語のほうが、お客さんに意味が伝わりやすいですからね。ショパンの「別れの曲」に私が詞をつけた「これ以上の愛は」という曲を、コンサートのアンコールで必ず最後に歌っていますが、皆様涙を流していただきます。

コンサートで、日本の曲、宗教曲、黒人霊歌、演歌などのクラシックとは別の音楽を歌うことは、自分の細かな気持ちを伝えるとても良い勉強になります。

日本オペラ協会の方ももちろんのこと、藤原歌劇団の方にもどんどん日本オペラに出て頂きたいですし、日本の歌はどうしても歌っていただきたいと思っています。

日本オペラのファンを増やしたい

—— 日本オペラについてお聞かせください。

外国オペラ、例えば「カルメン」などは多くの方が知っていますね。日本オペラに関してはあまり知られていない部分もありますから、まず内容からしっかり伝え、さらに日本語の美しさ、日本独特の心に響くメロディーや四季折々の情緒などをきちんと伝えられれば、必ずや日本オペラのファンは増えると思います。

偉大な現総監督の大賀寛先生のあとを継ぐプレッシャーもありますが、先生の大事にされてきたものを最大限に尊重して、コンセプトを明瞭に打ち出していきたいと思っています。

まずは「源氏物語」などに関係した古典をもとにした作品、そして「夕鶴」のような民話をもとにした作品、それから「ミスター・シンデレラ」という、男性が薬を飲んで美女に変身してしまうという内容の娯楽オペラの傑作があるのですが、こういった楽しくて最後には感動が待っているような作品を多く選んで、上演していきたいですね。

雅で華やかな世界、綺麗な衣装など、ある意味で宝塚を観るように、そして吉本新喜劇より面白いと思って楽しんでいただけるように、夢を持てるような作品をたくさん選んで、明るいイメージの日本オペラ協会にしたいと思っています。とにかく、日本オペラのファンを作っていくということが一番大事ですから、敷居を高くせず、どんどん興味を持っていただけるようにできれば嬉しいです。

—— 来春、25年前に高知で上演された「よさこい節」を再演しますね。

一昨年に逝去されたオペラ作曲家の原嘉寿子さんの追悼公演として、2017年3月に東京と高知で上演します。「土佐の高知のはりまや橋で…」という民謡の実話をテーマにした作品で、あの有名なメロディーが劇中に何度も反復して出て

くるので、とても聴きやすい上に音楽が大変美しく、日本人の心に訴える作品です。

地方で上演されて、とても良い内容なのに東京で上演されていない作品がたくさんあります。日本オペラ協会にそういった情報をたくさん頂戴して発信し、なるべく東京で上演の機会を増やしていきたいですね。また、小ホールで上演できるような室内歌劇も増やしたいと思います。

日本オペラを世界へ発信

—— 日本オペラの今後の展望についてお聞かせください。

先日、五輪の年に文化省創設をめざす文化芸術推進フォーラムに出席し、私が音楽代表ということでご挨拶をさせていただきました。

その中で、三つのことを宣言しました。まずは、世界に通じるアーティストを育成すること、そして世界に通じる作品を作ること、さらに世界に発信する事が出来る制作・企画の人材を充実させること。日本で唯一、日本オペラだけをやっている日本オペラ協会は、日本から世界に発信する責務を負っていると思うんですね。

私はオペラだけでなく、色んな経験をしてきた中で幅広い方たちと巡り合っていますので、次世代へのつなぎ役として、多くの方を巻き込んでいきたいと思っています。

日本オペラ協会には59年の歴史がありますので、育んできたものをより花開かせて、世界に発信していきたいですね。

情報

Information

川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)発 アート講座第2弾

「オペラ・スクオーラⅢ」(全5回)

第1回 2月22日(水) 13:30~15:30

講師: 郡 愛子

会場: 昭和音楽大学北校舎5階
ラ・サーラ・スカラ

※詳細はP16をご覧ください。

好評
受付中!

プロフィール

Profile

郡 愛子[Aiko Kori]

1975年に日本オペラ協会より、78年に藤原歌劇団よりオペラ・デビュー。とくに日本初演オペラや創作オペラなどで卓越した才能を発揮し、1985年、86年に、日本唯一のオペラ賞と言われたジロー・オペラ賞を2年連続で受賞。87年には文化庁芸術祭賞を受賞。90年~92年には、TV、ラジオで全国にオン・エアされた、三菱自動車DIAMANTEのCMでの歌声が大きな反響を呼ぶ。以来現在に至るまで、両所属団体における公演はもとより、新国立劇場主催公演、小澤征爾指揮《ヘネシー・オペラ・シリーズ》ほか数多くのオペラに出演。コンサートにおいても、これまで主要オーケストラの定期演奏会、特別演奏会などへの出演は枚挙にいとまが無い。幅広いレパートリーと奥深い芳醇な声、そして圧倒的な表現力において日本を代表するメゾ・ソプラノである。2002年には、横浜アリーナで開催された《3大テノール・ラスト・コンサート・イン・ジャパン》にゲスト出演、世界3大テノールと共演し話題となる。テレビ出演はこれまで、NHK「ニューイヤー・オペラコンサート」、「ときめき夢サウンド」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、「ニュースステーション」、日本テレビ「深夜の音楽会」などの番組のほか、BSテレビ、FM、AMラジオへの出演も数多い。CDアルバムは現在8タイトルを発売。

現在、公益財団法人日本オペラ振興会理事、日本オペラ協会総監督補、藤原歌劇団団員、公益社団法人日本演奏連盟理事。

オフィシャルサイト●<http://www.koriaiko.com/>

ミュージザ川崎シンフォニーホールのお薦め公演

お申込み・お問合せ◎ミュージザ川崎シンフォニーホール ☎044-520-0200(10:00~18:00)

ミュージザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集第124回

アジアを代表する女流指揮者&若手オルガン奏者による共演

2月4日(土) 14:00開演(13:30開場) S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円

韓国で初の女性音楽監督に就任したシーヨン・ソンが東響に初登場。ソリストを務めるのは若手のホープ、三原麻里。若手女流音楽家二人による期待のコラボレーション。



シーヨン・ソン
©Yongbin Park

三原麻里

出演

指揮:シーヨン・ソン(韓国初の女性音楽監督)
オルガン:三原麻里(MUZAソリストオーディション2014合格者)
管弦楽:東京交響楽団

プログラム

J.S.バッハ(L.カリエ編):小フーガ ト短調(オーケストラバージョン)
ジョンゲン:オルガンと管弦楽のための協奏的交響曲
ムソルグスキー/ラヴェル:組曲「展覧会の絵」

東京交響楽団



尾高忠明
©Martin Richardson

北村朋幹

東京交響楽団 モーツァルト・マチネ第28回

ピアノとオーケストラのかけあいは、幸せな気分になるほど快活で優美

2月12日(日) 11:00開演(10:30開場) 全席指定3,500円 学生券(小学生~25歳以下)1,000円

交響曲第32番、第35番は、どちらもモーツァルトが円熟期に向かっていく後期の作品。実力派指揮者・尾高忠明が紡ぎだす、力強くも繊細な響きをご堪能ください。

出演

指揮:尾高忠明 ピアノ:北村朋幹
管弦楽:東京交響楽団

オール・モーツァルト・プログラム

♪交響曲 第32番 ト長調 K.318
♪ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K.467
♪交響曲 第35番 二長調 K.385『ハフナー』

ホールアドバイザー松居直美企画 オルガンの未来へⅢ 西洋から日本への架け橋

2月18日(土) 15:00開演(14:30開場) S席3,000円 A席2,000円

企画審査で選ばれた若きオルガニストの挑戦は、西洋文化の申し子であるオルガンを日本の土壌の中に生かす橋を架けること! 世界初演2作品にもご期待ください。

出演

パイプオルガン:大木麻理

プログラム

J.S.バッハ:パッサカリア ハ短調BWV582
G.リゲティ:ヴォルミーナ
Z.サットマリー:バッハへのオマージュ
伊左治 直:橋を架ける者
松本倫士:悲歌~能「道成寺」の物語による幻想曲~(委嘱/世界初演) ほか



大木麻理



江崎浩司

畑内 浩

チャップリン映画を観ながら楽しむコンサート

出演

リコーダー:江崎浩司 クラシックギター:畑内 浩

MUZAランチタイムコンサート
リコーダーで聴く、
チャップリン映画とバロック音楽

2月22日(水) 12:10開演(11:30開場)
全席自由500円

【映画】チャップリン「午前一時」
/ブリテン:パッサカ、ヘンデル:メヌエット ほか
クーラン:愛のうぐいす
モンティ:チャールダーシュ ほか

MUZAナイトコンサート60
チャップリン on バロック

2月22日(水) 19:30開演(19:00開場)
SS指定席(限定100席)2,000円
自由席1,000円

【映画】チャップリン「午前一時」
/ブリテン:パッサカ、ヘンデル:メヌエット ほか
江崎浩司:トロキルス
アプレウ:ティコ・ティコ・ノ・フーバ ほか

ホールアドバイザー秋山和慶&佐山雅弘企画 オーケストラで楽しむ映画音楽Ⅷ

4月8日(土) 15:00開演(14:00開場) 14:20~プレトーク

S席7,000円 A席6,000円 B席5,000円 C席4,000円

人気シリーズ第8弾! 名作を支えた名曲をフル・オーケストラで!

出演

指揮:秋山和慶 ピアノ:佐山雅弘 バレエ:谷桃子バレエ団 安村圭太 ほか
ギター:鈴木大介(ゲスト) ナビゲーター:中井美穂 ほか

プログラム

- ♪ 哀愁漂うヨーロッパ映画 『シェルブールの雨傘』『第三の男』 ほか
- ♪ 華やかなバレエが登場! リベルタンゴ、「眠りの森の美女」よりワルツ、ポレロまで!
- ♪ なつかしのテレビシリーズ 『奥さまは魔女』『刑事コロンボ』『ルート66』 ほか
- ♪ ミュージカル映画の傑作 『ウエスト・サイド物語』より



秋山和慶



佐山雅弘
©Hozumi Nakadaira



谷桃子バレエ団
撮影:谷岡秀昌



鈴木大介
©Matsunao Kokubo



中井美穂
©小池百夫



東京交響楽団
©N. Ikegami

ミュゼ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団 名曲全集 2017-2018シーズン・ラインナップ

各回
14:00
開演

前期シリーズ

早世した天才作曲家たちの名作

第126回 4月16日(日)

指揮:尾高忠明 フルート:高木綾子
モーツァルト:歌劇「後宮からの逃走」序曲
シューベルト:交響曲第8番「グレイト」 ほか
S席6,000円 A席5,000円
B席4,000円 C席3,000円



尾高忠明
©Martin Richardson



高木綾子

異国の地に想いを馳せて

第127回 5月28日(日)

指揮:ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ
ピアノ:岡田 奏
ムソルグスキー:歌劇「ホヴァンシチナ」から
“ペルシャの奴隷たちの踊り”
サン＝サーンス:ピアノ協奏曲第5番「エジプト風」 ほか
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



ヘルムート・ライヒェル・シルヴァ
©Oliver Roeckle



岡田 奏
©Riho Suzuki

道義イチャオシ狂詩曲

第128回 6月11日(日)

指揮:井上道義
アルト・サクソフォン:上野耕平
《ラブソディ特集》
シャブリエ:狂詩曲「スペイン」
ドビュッシー:アルト・サクソフォンと管弦楽のための狂詩曲 ほか
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



井上道義
©OEK



上野耕平

トランペットが大活躍

～ボヘミアの作曲家たちの傑作

第129回 9月23日(土・祝)

指揮:ヘルマン・ボイマー
トランペット:マティアス・ヘフス
ドヴォルザーク:交響曲第9番「新世界より」
ケルンシュック:ラッパ達か鳴り響く(日本初演) ほか
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



ヘルマン・ボイマー



マティアス・ヘフス

ノットが贈る

“変奏(ヴァリエーション)”の世界

第130回 10月22日(日)

指揮:ジョナサン・ノット
オルガン:石丸由佳 ピアノ:児玉 桃
リスト:バッハの名による前奏曲とフーガ(オルガン独奏)
シェーンベルク:管弦楽のための変奏曲
ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 ほか
S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円



ジョナサン・ノット



石丸由佳



児玉 桃
©Marco Borggreve

後期シリーズ

秋山のスポーツ音楽5選

第131回 11月26日(日)

指揮:秋山和慶
ヴァイオリン:佐藤玲果
ロッシーニ:歌劇「ウィリアム・テル」序曲
シベリウス:ヴァイオリン協奏曲 二短調
オネゲル:交響的運動第2番「ラグビー」 ほか
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



秋山和慶



佐藤玲果

熱血漢IIMORIの「第九」

第132回 12月17日(日)

指揮:飯森範親
ソプラノ:鷲尾麻衣
メゾ・ソプラノ:池田香織
テノール:又吉秀樹 ほか
合唱:東響コーラス
ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付き」 ほか
S席7,000円 A席6,000円 B席4,000円 C席3,000円



飯森範親
©Martin Richardson



鷲尾麻衣



池田香織
©井村重人



又吉秀樹

天才作曲家たちのロシア音楽

第133回 2018年1月13日(土)

指揮:飯森範親
ピアノ:アレクサンダー・ガヴリリュク
プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第1番
ムソルグスキー/ラヴェル:組曲「展覧会の絵」 ほか
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



飯森範親©山岸伸



アレクサンダー・ガヴリリュク

飯守による、珠玉のベートーヴェン&ワーグナー

第134回 2018年2月25日(日)

指揮:飯守泰次郎
ピアノ:津田裕也
ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
ワーグナー:楽劇「神々の黄昏」から
夜明けとジークフリートのラインへの旅
ジークフリートの葬送行進曲
ブリュンヒルデの自己犠牲 ほか
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



飯守泰次郎
©武藤章



津田裕也
©山岸伸

ドイツロマン派 シューマンの傑作

第135回 2018年3月18日(日)

指揮:下野竜也
ヴァイオリン:三浦文彰
兼田敏/中原達彦編:パッサカリア(管弦楽版)
シューマン:ヴァイオリン協奏曲
シューマン:交響曲第3番「ライン」
S席6,000円 A席5,000円 B席4,000円 C席3,000円



下野竜也
©Naoya Yamaguchi (Studio Diva)



三浦文彰
©Yuji Hori

(セット券料金)

席 種	S 席	A 席	B 席	C 席	一般発売
年間セット券(10公演)	¥46,500	¥39,000	¥30,000	¥22,500	発売中
前期セット券(5公演)	¥24,000	¥20,000	¥15,500	¥11,500	2月2日(木)
後期セット券(5公演)	¥24,000	¥20,000	¥15,500	¥11,500	6月8日(木)

前期1回券

一般発売2月16日(木)
ミュゼ友の会・東響会員先行発売2月6日(月)

後期1回券

一般発売6月22日(木)
ミュゼ友の会・東響会員先行発売6月12日(月)

主催公演
4 土
14:00

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第124回 アジアを代表する女流指揮者 & 若手オルガン奏者による共演

指揮:シーヨン・ソン オルガン:三原麻里(ミュージア・ソリスト・オーディション合格者)
J.S.バッハ:小フーガト短調(管弦楽版) / ジョンゲン:オルガンと管弦楽のための協奏的交響曲 / ムソルグスキー(ラヴェル編):組曲「展覧会の絵」

5 日
13:30

リコーフィルハーモニーオーケストラ 第61回 演奏会

指揮:井崎正浩
ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 作品56a / ブルックナー:交響曲第9番 二短調

お問合せ:株式会社リコー
03-3777-8111

主催公演
7 火
14:00

MUZAオルガン講座「パイプオルガンを作ってください!」第1回

オルガン製作者:横田宗隆 オルガニスト:松居直美
本講座は、オルガン製作者がパイプオルガンを作り始める際に、クライアント(設置者)とどのようなやり取りをしているのか、実際に対話をお聞きいただきながら知っていただく講座です。

会場:ミュージア川崎シンフォニーホール
4階 市民交流室(限定120席)

主催公演
12 日
11:00

モーツァルト・マチネ 第28回

指揮:尾高忠明 ピアノ:北村朋幹 管弦楽:東京交響楽団
＜オール・モーツァルト・プログラム＞ 交響曲第32番 ト長調 K.318 / ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467 / 交響曲第35番 二長調 K.385『ハフナー』

12 日
18:00

マーラー 祝祭オーケストラ 2017年定期演奏会

指揮:井上喜惟 ヴァイオリン:植村理葉
E.W.コルンゴルト:ヴァイオリン協奏曲ニ長調 Op.35 / G.マーラー:交響曲第5番嬰ハ短調

お問合せ:公演事務局 0422-45-1585
(ジャパン・シンフォニア内)

15 水
PM

第71回 毎日映画コンクール表彰式

※表彰式の前に「光のブリッジ」にて、オープニングセレモニーを開催(観覧自由)

お問合せ:毎日新聞社 事業本部
毎日映画コンクール事務局
03-3212-0929

主催公演
18 土
15:00

ホールアドバイザー松居直美企画 オルガンの未来へⅢ

パイプオルガン:大木麻理
J.S.バッハ:パッサカリア ハ短調 / G.リゲティ:ヴォルミーナ / 松下倫士:悲歌〜能「道成寺」の物語による幻想曲〜(ミュージア委嘱作品、世界初演) 他

主催公演
21 火
14:00

MUZAオルガン講座「パイプオルガンを作ってください!」第2回

オルガン製作者:横田宗隆 オルガニスト:松居直美
本講座は、オルガン製作者がパイプオルガンを作り始める際に、クライアント(設置者)とどのようなやり取りをしているのか、実際に対話をお聞きいただきながら知っていただく講座です。

会場:ミュージア川崎シンフォニーホール
4階 市民交流室(限定120席)

主催公演
22 水
12:10

MUZAランチタイムコンサート

リコーダーで聴く、チャップリン映画とバロック音楽

リコーダー:江崎浩司 ギター:畑内 浩
【映画】チャップリン=「午前一時」(プリテン:パッカス、ヘンデル:メヌエット、アゼヴェード:ブラジレイリーニョ) 他 / クーブラン:愛のうぐいす / モンティ:チャールダーシュ 他

主催公演
22 水
19:30

MUZAナイトコンサート60

チャップリン on バロック

リコーダー:江崎浩司 ギター:畑内 浩
【映画】チャップリン=「午前一時」(プリテン:パッカス、ヘンデル:メヌエット、アゼヴェード:ブラジレイリーニョ) 他 / 江崎浩司:トロキルス / アブレウ:ティコ・ティコ・ノ・フーバ 他

主催公演
24 金
14:00

MUZA音楽サロン「極める」第2回「ベルばらと音楽秘話」

プレゼンター:池田理代子(劇画家・声楽家) 演奏:甲藤さち(東京交響楽団首席フルート奏者) ピアノ:興口理恵
フォーレ:シチリアーナ op.78 / ヴィドール:フルート組曲 Op.34 他

会場:ミュージア川崎シンフォニーホール
4階 市民交流室(限定120席)

★お茶とお菓子つき!

25 土
13:15

さいわいハナミズキコンサート

スペシャルゲスト:近藤岳(パイプオルガン)
出演:川崎市立南加瀬中学校吹奏楽部、クワノワ・カルーク・オーケストラ、Tortuei Saxophone Quartet、マークストリオ、みーとりお

お問合せ:幸区役所地域振興課 044-556-6606
※入場無料・要事前申込

26 日
13:30

横浜ブラスオルケスター 第18回定期演奏会

指揮:近藤久敦(音楽監督) ソリスト:奥村晃(新日本フィルハーモニー交響楽団トロンボーン奏者)
【I部】間宮芳生:マーチ「カタロニアの栄光」/ 保科洋:古記 他【II部】J.マッキー:ハーヴェスト・トロンボーン・コンチェルト【III部】J.バーンズ:交響曲第3番 作品89

お問合せ:演奏会広報担当 ybo.contact@gmail.com





東海道かわさき宿交流館

TOKAIDO KAWASAKI SHUKU KORYUKAN



写真・資料パネル展

「明治・大正の川崎」

日時：開催中～2月12日(日) 9時から17時まで
会場：東海道かわさき宿交流館3階 企画展示室
料金：無料



市制施行当時の川崎市街
川崎区・大正13年

江戸時代の粋に遊ぶ その24

「雅楽」

日時：2月18日(土)14時から(13時半開場) 料金：1,500円
定員：80名(自由席) 会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室
出演：雅楽道友会



創作講談

「伝・川崎宿物語」

日時：2月22日(水)14時から(13時半開場) 料金：無料
定員：80名(自由席)
会場：東海道かわさき宿交流館4階 集会室
出演：一龍齋春水(女性講談師)

講演の内容：川崎宿を舞台とした一龍齋春水による新作。

田中休愚の功績を縦糸に、6歳で身売りされてきたある飯盛り女と幼馴染の男との駆け落ちを横糸とする話です。

一龍齋 春水

(いちりゅうさい はるみ)

1972年声優養成所へ。声優名「麻上洋子」。

「宇宙戦艦ヤマト」ヒロイン森雪役、「銀河鉄道999」ガラスのクリア役や、CMナレーションなど多数。

舞台演劇活動から劇読(ドラマティック朗読)を経て講談と出会い、1992年一龍齋貞水(人間国宝)へ入門。一龍齋春水を名乗る。2004年真打ちに昇進2012年より、声優名も「一龍齋春水」に統一。



展示－宿場時代の川崎(2階)

江戸時代の川崎宿の歴史や当時の情報があります。
旅人の衣装を着て記念撮影もできます。



展示－江戸から現代へ(3階)

明治以降の川崎市の歴史や、ゆかりの人物などの展示があります。



第109回川崎市定期能 事前講座

12月に開催する定期能に先立ち、出演能楽師による事前講座を開催しました。

まずは上演演目の解説があり、実際に舞台上で使われる能装束と能面を間近にご覧いただきました。お話のあとは体験コーナー。参加者の皆さんに『竹生島』の謡の一部を謡っていただき、希望者は能舞台での基本的な動きである「すり足」で舞台を歩きました。「顎を引き、肩甲骨を寄せて、手はナイフとフォークを持つように」という指導のもと、実際に能面をつけて船に乗る動きまでを体験していただきました。

【お客さまの声より】

- 面をつける体験や歩き方など貴重な体験ができ楽しかったです。(60代)
- 実際に舞台上に上って、能を少しでも体験できたことで演者のプロ意識や苦勞もわかり、更に能を楽しく観賞できると思いました。(50代)



(11月19日 川崎能楽堂)

第109回川崎市定期能



撮影：山口宏子

観世流梅若会と和泉流狂言の能楽師をお迎えし、第109回川崎市定期能を開催しました。

第一部では、出家を希望した宿の主人と僧のやりとりがおかしい狂言『呂蓮』、神がかった巫女の神楽の舞が見物の能『巻絹』を上演しました。

第二部では、蔵と蔵との間に樋を掛け渡して酒を飲む家来たちの様子がおかしい『樋の酒』と、琵琶湖に浮かぶ竹生島に弁財天と竜神が出現し、金銀珠玉を授ける『竹生島』を上演し、人間国宝 梅若玄祥師による弁財天の華麗な舞が満員の観客を魅了しました。

【お客さまの声より】

- すぐはりつめた緊張感があって、鳥肌がたちっぱなしでした。幕があがり、弁財天の姿をみた瞬間に稲妻に打たれ

ような衝撃が走りました。(40代)

- まさに弁財天様が目の前で舞っているような華麗な舞いで神仏の加護を感じました。(60代)

(12月10日 川崎能楽堂)

江戸の粹に遊ぶ その23「狂言」



今回の「江戸時代の粹に遊ぶ」シリーズは「狂言」でした。大蔵流の善竹富太郎さんにお越し頂きました。

狂言はいわば、笑いの舞台劇です。前半では狂言の歴史や特徴などを教えて頂きました。話のテンポがよく、聞いていてとても楽しかったです。また『盆山』という演目を披露してくださいました。後半は富太郎さんに「笑い方」「怒り方」「謝り方」を教えてくださいました。姿勢などのコツを教えてくださいると、すぐに会場に高らかない声が。笑い声が絶えない一日で、皆さんからも大好評でした。ありがとうございました。

次回は、来年2月18日(土)14時から「雅楽」を行います。お楽しみに。

(12月10日 東海道かわさき宿交流館)

company ma 「ふたつのつばさ」



撮影：Hiroki Ota

児童演劇から大人のための演劇、ノンバーバル(言葉を使わない演劇)からフィジカルシアター(身体表現による演劇)まで、多様な様式で活動を行う演劇集団 company maによる第2回公演。アメリカの公立小学校で演劇を教えるアン・ネグリが書いた「ふたつのつばさ」は、身体的な障がいを持つ両親が、障がいを持たない子どもとどう向き合うかをテーマに、鳥の家族の物語を通して、障がいや個性について問いかける作品。初演は茅ヶ崎の公立小学校の特別支援学級活動のオリエンテーション企画として全生徒に向け上演されましたが、今回はより広く観て頂きた

いと場所を劇場に移し再演。親子連れも多く、ギターを生演奏が舞台と客席を優しく包む中、お互いを思いやる気持ち、共に支え合いながら生きることの大切さを感じて頂けたのではないのでしょうか。

(12月10・11日 アルテリオ小劇場)

歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」



演奏会形式の本公演は、東京交響楽団がステージ中央に配置され、ジョナサン・ノット音楽監督が指揮とハンマーフリーゲル(通奏低音)を演奏、その周りで歌手たちが演技をしながら歌うという形で行われました。イギリスを代表する名歌手サー・トーマス・アレンが舞台監修を行い、ヴィクトリア・カミンスカイテほか世界の歌劇場で活躍する歌手たちは装置などのシンプルなステージを完全に利点に変えて、のびのびとした演技で3時間半にわたる物語を全く飽きさせることなく演じ切りました。東響はかなり少ない弦楽器編成にも関わらず豊潤なモーツァルト・サウンドをホールに満ちし、極上のオペラとなりました。来年は「ドン・ジョバンニ」が予定されています。ご期待下さい!

(12月9日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

名曲全集第123回 豪華絢爛、 秋山の夢見るクリスマス!



今回の名曲全集は東京交響楽団が贈るクリスマス・コンサート。アンダーソンの「クリスマス・フェスティバル」で華やかに幕を開け、雰囲気は一気にクリスマスに。15歳の天才ピアニスト奥田弦は「ラプソディ・イン・ブルー」を堂々と聴かせ、ピアニトリオのアドリブでは大いに聴衆を沸かせました。後半は小林沙羅によるカッチーニとバッハの「アヴェ・マリア」で聖なる夜を演出、そして「くるみ割り人形」の抜粋でにぎやかにフィナーレとなりました。

(12月18日 ミューザ川崎シンフォニーホール)

アートガーデンかわさき



貸館案内 絵画、彫刻、造形、工芸、写真をはじめとするジャンルを超えたアートの発表の場です。自由に空間を演出していただけます。

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 タワーパーク3F
TEL.044-200-1415 FAX.044-222-8817
<http://www.kbz.or.jp/facility/artgarden/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩2分・京急川崎駅より徒歩2分



ミュージア川崎シンフォニーホール

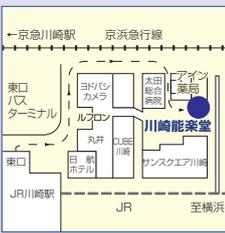


貸館案内 音楽ホール正面入口の向かいに位置する音楽工房は、ピアノの発表会、講演会、音楽練習、絵画等の創作活動の発表等、用途に応じてご利用いただけます。

〒212-8557 川崎市幸区大宮町1310
TEL.044-520-0100 FAX.044-520-0103
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩3分、京急川崎駅より徒歩8分



川崎能楽堂



貸館案内 邦楽を中心に創意を生かしたパフォーマンスの稽古、発表、鑑賞の場としてご利用いただけます。

〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995
<http://www.kbz.or.jp/facility/noh/>
【アクセス】JR川崎駅東口より徒歩5分



東海道かわさき宿交流館



貸館案内 4階の集会室は、ふれあいネット(川崎市公共施設利用予約システム)にて利用予約が必要です。

〒210-0001 川崎市川崎区本町1丁目8番地4
TEL.044-280-7321 FAX.044-280-7314
<http://www.kawasakishuku.jp/>
【アクセス】京急川崎駅より徒歩4分、JR川崎駅東口より徒歩9分



ラゾーナ川崎プラザソル



貸館案内 可動式ひな壇を使用したり、舞台と客席を自由に設定したりと、様々な催し物に対応。機材も充実、お客様の構想を基に、理想の空間づくりをお手伝いいたします。

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F
TEL.044-874-8501 FAX.044-520-9151
<http://www.plazasol.jp/>
【アクセス】JR川崎駅西口より徒歩5分



川崎市アートセンター



貸館案内 アルテリオ小劇場では、演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態での利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1
TEL.044-955-0107 FAX.044-959-2200
<http://kawasaki-ac.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分



新百合トウェンティワンホール

貸館案内 450名収容の多目的ホールは、講演会、発表会、展示会、展示即売会、ギャラリーなど多彩な利用が可能です。

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21地下2階
TEL.044-952-5000 FAX.044-952-1350
<http://shinyuri21hall.jp/>
【アクセス】小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩2分



アートガーデンかわさき・市内ギャラリー・美術館等の展覧会情報

Event Calendar

- 掲載情報は原則入場無料です。ただし、有料マークのある施設は入場料が必要な催し物の情報が含まれています。
- 各施設とも、催し物の内容・会期・料金等が変更になる場合がございますので、ご確認の上ご来館ください。 □=休館日

2017.2

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	3/1								
		Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed								
アートガーデンかわさき(川崎区) 川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・パーク3F TEL.200-1415 【休館日】毎週月曜日	第1展示室																																					
	第2展示室	写真展 眞田強が撮った多摩川の野鳥たち ~2月5日(日)					第54回 日本水彩画会 神奈川支部展 2月8日(水)~12日(日)															第129回 いけ花と茶の湯の会 2月24日(金)~26日(日)				東京ガラス工芸研究所 卒業・終了制作展 2月28日(火)~3月5日(日)												
	第3展示室																																					
中原市民館市民ギャラリー(中原区) 中原区新丸子東3-1100-12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー1・2階 TEL. 433-7773 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		ごえん楽市 (かわさきボランティア市民活動フェア) ~2月1日(水)		川崎中原の空襲・戦災を記録する会 中原空爆展 2月3日(金)~8日(水)								人風展 (ZINPU-TEN) リターンズVol.1 2月10日(金)~15日(水)				子どもの絵画展事務局 「環境・まちづくり」 作文・絵画コンクール作品展 2月17日(金)~22日(水) ※20日休館				桜色の会 小学生のぬらし絵展II (色さしの出会い) 2月24日(金)~2月27日(月)																		
高津市民館市民ギャラリー(高津区) 高津区溝口1-4-1 ノクティ2(12F) TEL. 814-7603 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		森のアトリエ ゴーゴー ~2月1日(水)		悠遊フォトクラブ写真展 2月3日(金)~8日(水)								二人会 2月10日(金)~15日(水)				かわさき七和会作品展 2月17日(金)~22日(水) ※20日休館				川崎スケッチ会展 2月24日(金)~3月1日(水)																		
宮前市民館市民ギャラリー(宮前区) 宮前区宮前平2-20-4 TEL. 888-3911 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		第5回社会福祉法人みり会 作品展 ~2月1日(水)		かわさきキャラ 着ぐるみ隊 宮前兄妹展 2月4日(土)~5日(日)								宮前区 役所地域振興課 第11回 フォトコンテスト 2月10日(金)~15日(水)				宮前写真倶楽部 写真展 2月17日(金)~22日(水) ※20日休館				宮前パステル会 写真展 2月24日(金)~3月1日(水)																		
多摩市民館市民ギャラリー(多摩区) 多摩区登戸1775-1(多摩区総合庁舎内) TEL. 935-3333 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		花の会カーナ花展 (花の絵・フラワーアレンジ) ~2月1日(水)		社会福祉法人なごみ福祉会 多摩川あゆ工房 なごみ福祉会合同作品展 2月3日(金)~5日(日)								全日本年金者組合神奈川県本部多摩支部 生きがい作品展 2月17日(金)~22日(水) ※20日休館																										
川崎市岡本太郎美術館(多摩区) 多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は開館)		企画展		有料 企画展「第20回 岡本太郎現代 芸術大賞」展 2月3日(金)~4月9日(日) 観覧料:一般700円、高・大学生・65歳以上 500円、中学生以下無料																																		
		常設展		有料 常設展「みんなが見たい! 太郎セ レクシ ョ ン 2017」展 ~4月9日(日) 観覧料:~2月2日/一般500円、高・大学生・65歳以上300円、中学生以下無料 2月3日~/一般700円、高・大学生・65歳以上500円、中学生以下無料																																		
麻生市民館市民ギャラリー(麻生区) 麻生区万福寺1-5-2 TEL. 951-1300 【休館日】第3月曜日(祝日と重なる場合は翌日)		Photo Club 写光 第9回写真展 2月3日(金)~8日(水) ※6日休館					三 水会水彩画展 2月10日(金)~15日(水)								新百合デッサン会展 2月17日(金)~22日(水) ※20日休館				アトリエー絵 (油絵・水彩画) 2月24日(金)~3月1日(水)																			

(注)会期、時間等は各団体により、変更になることがありますので、ご確認の上ご来場ください。

川崎市市民ミュージアム〈中原区〉

工事休館のお知らせ
1月16日(月)～3月31日(金)

施設設備の老朽化対策として昇降機設備の改修工事のため

休館中開催の講座・イベント

古文書講座「はじめての古文書」(全4回)



初めて古文書を学ぶ方を対象とした古文書講座です。江戸時代の古文書の読み方を楽しみ学習します。

- 日 時: 2017年2月17日(金)、2月24日(金)、3月3日(金)、3月10日(金) 各日とも14:00～16:00
- 会 場: 川崎市大山街道ふるさと館イベントホール (JR「武蔵溝ノ口駅」、東急「溝の口駅」徒歩7分)
- 講 師: 市民ミュージアム学芸員
- 定 員: 40名(要・事前申込。応募者多数の場合、抽選)
- 参加費: 1,000円
- 申込締切: 2017年2月3日(金)

ミュージアム講座

市民ミュージアムの研究分野、収蔵資料などについて、分かりやすく皆さんにお話する講座です。

「東京オリンピックとかながわ」

- 日 時: 2月26日(日)
- 講 師: 寺寄弘康(神奈川県立歴史博物館学芸部長)

「ビゴー『トバエ』の全体像」

- 日 時: 3月5日(日)
- 講 師: 清水勲(漫画・諷刺画研究家)

- 各日とも14:00～15:30
- 会 場: かわさき市民活動センター会議室A・B (JR・東急「武蔵小杉駅」徒歩3分)
- 定 員: 30名(要・事前申込。先着順)
- 参加費: 無料

講座の申込方法

いずれかの方法で、市民ミュージアム宛にお申込みください。

- ホームページ: <http://www.kawasaki-museum.jp>
※トップページよりイベント → イベント詳細 → お申込みフォームより
 - FAX: 044-754-4533
 - 往復はがき
〒211-0052 川崎市中原区等々力1-2
 - ①住所、②氏名、③電話番号、FAX番号(FAXでお申込みの場合)、④参加を希望する講座・イベント名、⑤参加希望日を明記。
- お問合せ: TEL 044-754-4500

中原区等々力1-2(等々力緑地内) TEL. 754-4500 FAX. 754-4533
【アクセス】武蔵小杉駅北口バス約10分、溝の口駅ノキテ側バス約20分
【開館時間】9:30～17:00(入館16:30まで)
【休館日】～3/31(金)まで工事休館
<http://www.kawasaki-museum.jp/>

● ホームページ、Twitter、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



Twitter



川崎市岡本太郎美術館〈多摩区〉

常設展 / 開催中～2017年4月9日(日)

「みんなが見たい! 太郎セクション 2017」展



岡本太郎《森の旋》1950年

昨年7-9月にアンケートを実施し「好きな作品」・「見たい作品」を答えて頂きました。合計508件の回答から「太郎セクション2017」が選ばれました。岡本太郎の人気作品・代表的作品を一挙に展示します。話題のあの作品や隠れた人気作品など、どうぞお見逃しなく!



岡本太郎《午後の日》1967年

企画展 / 2017年2月3日(金)～2017年4月9日(日)

「第20回岡本太郎現代芸術大賞」展

本展は岡本太郎の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰する岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)における受賞作品及び入選作品を紹介するものです。今年で20回をむかえる本展を通し、美術のジャンル意識を超え、芸術の新しい可能性を探る意欲的な作品を紹介いたします。

一般700(560)円、高校・大学生・65歳以上500(400)円です。中学生以下は無料です。
*()内は20名以上の団体料金
*企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります。

【イベント情報】

Taro バースデーコンサート 弦楽四重奏「カルテット・シスレー」演奏会

岡本太郎の誕生日を祝って、弦楽四重奏「カルテット・シスレー」によるコンサートを行います。クラシックの名曲の他、オリジナルのオマーヂュ曲「TARO SISLEY ～踊り 祈れそして爆発 for string quartet～」も再演。太郎の愛したシャンソンも交えた多彩なプログラムをお楽しみください。



日 時: 2017年2月26日(日) 開場13:30～ 開演14:00～
出演者: 門野由奈、桂川千秋、池辺真帆、加藤泰徳
場 所: 美術館ギャラリースペース
対 象: どなたでも(当日先着順)
料 金: 無料(椅子席80席のみ要観覧券)

多摩区枳形7-1-5 TEL.900-9898 FAX.900-9966
【アクセス】小田急線向ヶ丘遊園駅南口徒歩17分、北口バス約10分
専修大学前下車徒歩6分
【開館時間】9:30～17:00(入館締切16:30)
【休館日】毎週月曜日
<http://www.taromuseum.jp>

● ホームページ、Facebookにて情報発信中



ホームページ



Facebook



アルテリオ小劇場

第49回川崎市アートセンター

しんゆり寄席

2017年2月25日(土) 14:00開演 ※開場は開演の30分前

【出演者】柳亭楽輔、桂米多朗、瀧川鯉斗、柳亭楽ちん

【チケット】一般 2,000円/学生 1,000円(全席自由・税込)

★大旦那衆チケット、プレミアムチケット★

年間10回の開催を予定している「しんゆり寄席」で、いつでもご利用頂けるセット券をご用意しました。お一人で毎月通うことも、ご友人と一緒でも、ご自由にお使い頂けます。

●大旦那衆チケット:10枚1組 12,000円 ●プレミアムチケット:4枚1組 6,000円

※有効期限は2017年3月公演までとなります。払い戻しは致しません。*WEBでのお取り扱いはございません。



柳亭楽輔



桂米多朗

〈2016年度の予定〉3/25(土)

【お知らせ】仲入りでは演者からのプレゼントがあたる抽選会を開催。何が当たるかは参加してのお楽しみ!

しんゆりシアター 劇団わが町 第6回公演

恐れを知らぬ27人の劇作家?と49人の俳優たち

作・構成・演出 ふじたあさや/作 劇団わが町文芸部

みんなで書いた、わたしたちの《今》《今》を見つめる目が わたしたちの《明日》をつくる

しんゆりで、またまたただならぬことが起きています。

劇団わが町のメンバーに、「ブレヒトは『第三帝国の恐怖と貧困』で、生活の断片を積み重ねてナチス・ドイツの犯罪を告発した。それにならって、次の公演はみんなで、今の私たちが脚本にしてみないか」とすすめたところ、なんと27人の劇作家が誕生したのです。

脚色ではありません。創作です。それも、上は79歳から、下は9歳までの、脚本なんて書くのは初めてという面々です。

結果、試作を含めて63本の小作品が寄せられました。いずれも、戦後70年、福島原発事故から5年の、2016年の現実を、しっかりとらえた作品ばかりです。もう始まっている近未来まであります。

これから、それらをまとめて、一本の作品にするのですが、これだけは言えます。これを見損なったら、川崎の文化は語れないし、演劇の歴史も語れない、と。 ふじたあさや



前回公演「わが町満の口」(撮影:関口淳吉)



稲古風景

【日時】2017年3月10日(金)~12日(日)

【出演者】劇団わが町

客演:古館一也、原田 亮(company ma)

【チケット】一般 2,500円/学生(小学生~高校生) 1,000円

※全席指定・税込

	10(金)	11(土)	12(日)
13:00			●
14:00		●	
17:00			●
18:00		●	
19:00	●		

※開場は開演の30分前

チケット取扱い:川崎市アートセンター

[窓口] 9:00~19:30(原則毎月第二月曜除く) [WEB] <http://kawasaki-ac.jp/th/>

[電話] 044-959-2255(9:00~19:30、土日祝・原則毎月第二月曜除く)

※学生チケットは窓口でのみ取扱い。要学生証提示。

※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

★お問合せ:川崎市アートセンター 044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>

貸館のご案内

アルテリオ小劇場では施設の貸出を行っております。演劇やミュージカル、コンサート、ダンス、発表会、セミナーなど様々な形態でご利用頂くことが可能です。基本形式193席の客席を有し、3室可動間仕切りの楽屋や工房(舞台の道具作成や楽屋代わりとしてもご利用可)もごございます。詳細はWEBまたは川崎市アートセンターまでお問い合わせください。

お問合せ:川崎市アートセンター TEL.044-955-0107 <http://kawasaki-ac.jp>

川崎市アートセンター アルテリオ映像館



©PALMIRACAS OPERA NATIONAL DE PARIS/OPSIDE DISTRIBUTION/BEIJING 2016

ミルピエ

～パリ・オペラ座に挑んだ男～

2015年/フランス/カラー/1h54

監督：ティエリー・デメジール/アルバン・トゥルレー

出演：バンジャマン・ミルピエ、レオノール・ボラック、ユーゴ・マルジャン、ジェルマン・ルーヴェ

バンジャマン・ミルピエへの4つの質問

非常に私的な瞬間に撮影チームが周りにいたことについて、どう思われましたか？

彼らがいることはすぐに忘れてしまいました。彼らの存在は不快というより喜びで、私はとても気楽でした。

あなたはノートを取り、スケッチし、動画撮影をし、写真を撮っていました。あなたの仕事において、視覚的なイメージというのは不可欠なツールですか？

はい、私は写真を撮るのが大好きです。瞬間の美しさをイメージーションだけでとらえることは困難です。撮影というのは仕事をするための単なるツールにすぎません。ビデオは、私のバレエとの間に一定の距離をとってくれて、間違いを正し、進歩させてくれます。

このドキュメンタリーを観てどう思いましたか？

劇場で仕事をしている自分自身を見るのは実に興味深かったです。この距離は、多くのことを理解するのに役立ちました。本当に今の助けになっています。

フィクションとドキュメンタリーに関わらず、深く印象に残っているダンス映画を教えてください。『赤い靴』(48)、『ブラック・スワン』(10) (もちろん!)、『ホワイト・ナイト/白夜』(85)、『雨に唄えば』(52) ですね。

最高峰の芸術を提供し続けてきたバレエの殿堂“パリ・オペラ座”。錚々たる有力候補を押しよけ、史上最年少で芸術監督に大抜擢されたのは、映画『ブラック・スワン』の振付師であり、女優ナタリー・ポートマンの夫として知られるバンジャマン・ミルピエだった。本作は彼が芸術監督として手掛ける新作完成までの40日間に密着し、公式プロデュース作品でしか成しえないオペラ座の貴重なバックステージを、スタイリッシュかつ圧巻の映像美で描いていく。階級制度を否定し、伝統ある名門に大胆な変化をもたらしながら天才振付師が次世代を担う若手ダンサーたちと挑む、歴史の新たな1ページ。

(宣伝用プレスシートより抜粋。校正・文責=川崎市アートセンター 協力=トランスフォーマー)

2.25-3.10



©東海テレビ放送

人生フルーツ

2016年/日本/カラー/1h31
監督：伏原健之
出演：津端修一、津端英子

建築家で90歳の修一さんと87歳の英子さん夫婦は、50年前に修一さんが手がけたニュータウンに土地を買い、家を建て、コソコソと雑木林を育ててきた。四季に寄り添い、細やかな気遣いと工夫に満ちたふたりの生活に丁寧に密着し、本当の豊かさへの深い思索の旅へと誘うドキュメンタリー。

2.4-2.17



©PC. GUERIN & ORPEO FILMS

ミューズ・アカデミー

2015年/スペイン/カラー/1h36
監督・脚本・編集：ホセ・ルイス・ゲリン
出演：ラファエレ・ピント、エマヌエラ・フォルゲッタ

パルセロナ大学のイタリア人教授、ラファエル・ピントが現代のミューズ像を探るべく授業を開講する。教師と生徒の果てない美と愛の議論はやがて予期せぬ場所へと向かっていく。スペインのゲリン監督による、フィクションとドキュメンタリーの境目を漂うユーモラスな意欲作。

2.4-2.9



©1966 Casbah Films, Inc. All rights reserved.

アルジェの戦い

1966年/イタリア=アルジェリア/B&W/2h01
監督：ジッロ・ポンテコルヴォ
出演：ジャン・マルタン、ヤセフ・サーディ

1954年から1962年にかけて行われた、フランスの支配に対するアルジェリアの独立戦争をドキュメンタリー・タッチで描き、1966年ベネチア国際映画祭で金獅子賞を受賞した戦争劇映画の傑作。音楽はイタリアが誇る巨匠、エンニオ・モリコーネ。

2.14-2.24



©2015 Van Productions Limited, British Broadcasting Corporation and InStar Pictures, Inc. All Rights Reserved.

ミス・シェパードをお手本に

2015年/イギリス/カラー/1h43
監督：ニコラス・ハイトナー
出演：マギー・スミス、アレックス・ジェニングス

ロンドンの路上に停めたオンボロの黄色い車で自由きままに暮らす老婦人、ミス・シェパードと劇作家との15年にもおよぶ奇妙な共同生活を描いた実話に基づくユーモア溢れる感動作。主演はイギリスの女優マギー・スミス。

2.11-2.24



©Rai Com - Skira Classica - ARTE France - Camera Lucida Productions 2015

ミラノ・スカラ座 魅惑の神殿

2015年/イタリア/カラー/1h42
監督：ルカ・ルチーニ 出演：リッカルド・ムーティ、ダニエル・バレンボイム、マリア・カラス

18世紀に誕生し、伝説の歌姫マリア・カラスや音楽史に輝く偉人たちが輩出し続け、今日に至るまでその神聖さを保ち続けているミラノ・スカラ座。オペラ、バレエ、クラシック音楽の光り輝く歴史を貴重な証言とアーカイブ映像で、その全貌に鮮やかに迫るドキュメンタリー。

2.25-3.10



©1995 Miramax/N.I.E./Euro Space

Smoke デジタルリマスター版

1995年/アメリカ、日本/カラー/1h53
監督：ウェイン・ワン 原作・脚本：ポール・オースター
出演：ハーヴェイ・カイテル、ウィリアム・ハート

ポール・オースターの原作を基に作家自らが脚本を書き下ろし、ウェイン・ワン監督が映画化、日本では記録的な大ヒットとなった名作がデジタルリマスターで蘇る。1990年のブルックリンを舞台にさまざまな登場人物の人生が織りなす糸のように絡み合い、感動のクライマックスへと向かっていく。

2.18-3.3

特集

日本映画大学理論コース3年 上映企画ワークショップ主催
めをと映画祭 ~愛と翳りの風景~

2.10-2.12

〈上映作品〉

- 『妻』
(成瀬 巳喜男)
 - 『こわれゆく女』
(ジョン・カサヴェテス)
 - 『グブラ』
(ヤスミン・アフマド)
 - 『フレンチアルプスで起きたこと』
(リュベーン・オストロンド)
 - 『ハネムーン・キラーズ』
(レナード・カッスル)
 - 『四谷怪談 お岩の亡霊』
(森 一生)
- ほか



妻



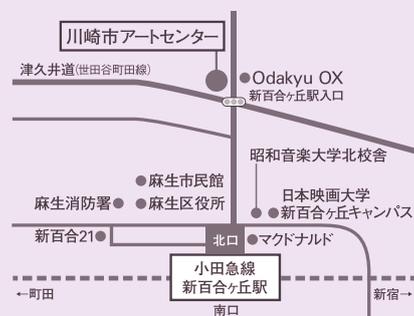
グブラ



フレンチアルプスで起きたこと



ハネムーン・キラーズ



川崎市アートセンター

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1
Tel. 044-955-0107 Fax. 044-959-2200
info@kawasaki-ac.jp http://kawasaki-ac.jp/
小田急線「新百合ヶ丘駅」北口より徒歩3分

- ◆映画のチケットは9:00より受付にて販売
- ◆自由席、整理番号順入場、立見不可



毎月

第三火曜日

のお楽しみ

2017

ラゾーナ寄席

2月21日(火) 17:30受付開始/18:00開場/18:30開演

※当日券は18:00から販売します

■会場…ラゾーナ川崎プラザソル

〒212-8576 川崎市幸区堀川町72-1 ラゾーナ川崎プラザ5F

■出演…三遊亭吉窓・初音家左橋・古今亭駒次・三遊亭歌実

■入場料…全席自由2,000円(終演後のおたのしみ“交流会”…希望者のみ・参加費1,500円)

■予約・お問合せ／ラゾーナ川崎プラザソル

電話 044-874-8501 FAX 044-520-9151

E-mail: info@plazasol.jp http://www.plazasol.jp



三遊亭吉窓

川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)発アート講座第2弾

オペラ・スクオーラⅢ

[全5回]

「オペラの世界へ分かりやすく楽しく誘います」

オペラ・スクオーラ(イタリア語でオペラ学校の造語)は、

「オペラを知り、オペラを好きになり、そしてオペラが楽しくなる」講座です。

オペラの世界を学習し、堪能してみませんか。

平成29年

2月22日(水)

～3月29日(水)

13時30分～15時30分



郡愛子



神田陽子



折江忠道



岩田達宗



星出豊

第1回 | 2月22日(水)

「愛といのちを歌う」

講師: 郡愛子(日本オペラ協会総監督補)

第2回 | 3月1日(水)

「オペラ講談と私」

講師: 神田陽子(女流講談師)

第3回 | 3月8日(水)

「オペラと私～音の不思議～」

講師: 折江忠道(藤原歌劇団総監督)

第4回 | 3月22日(水)

「行列のできるオペラ演出家」

講師: 岩田達宗(演出家)

第5回 | 3月29日(水)

「マエストロ・オペラ一筋50年」

講師: 星出豊(指揮者)

●会場: 昭和音楽大学北校舎5階 ラ・サーラ・スカラ(小田急線新百合ヶ丘駅北口下車2分)

●受講料: 3,000円(全5回) ●定員: 180名(希望者多数の場合は抽選)

●申込方法: オペラ・スクオーラ参加希望と明記の上、〈氏名・住所・年齢・電話・FAX番号〉を記入し、ハガキまたはFAXでお申し込みください。2月10日(金) 必着

●お申込み・お問い合わせ: 芸術によるまちづくり・かわさき2016実行委員会(川崎市アートセンター内)

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺6-7-1 TEL 044-955-0107 FAX 044-959-2200

公益財団法人 川崎市文化財団

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1(リパーク3F)
TEL.044(222)8821(代表) FAX.044(222)8817
http://www.kbz.or.jp
平成29年2月1日発行

川崎市文化財団

検索

かわさきアートニュースの制作には、川崎市文化振興基金が活用されています。

●印刷・製本/八幡印刷(株) TEL.044-542-2311